

がん全ゲノム解析等における患者還元に関する研究
領域番号：1-7

全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な 患者還元を通じた高度化 がんプレシジョン医療の実践

公財 がん研究会 有明病院

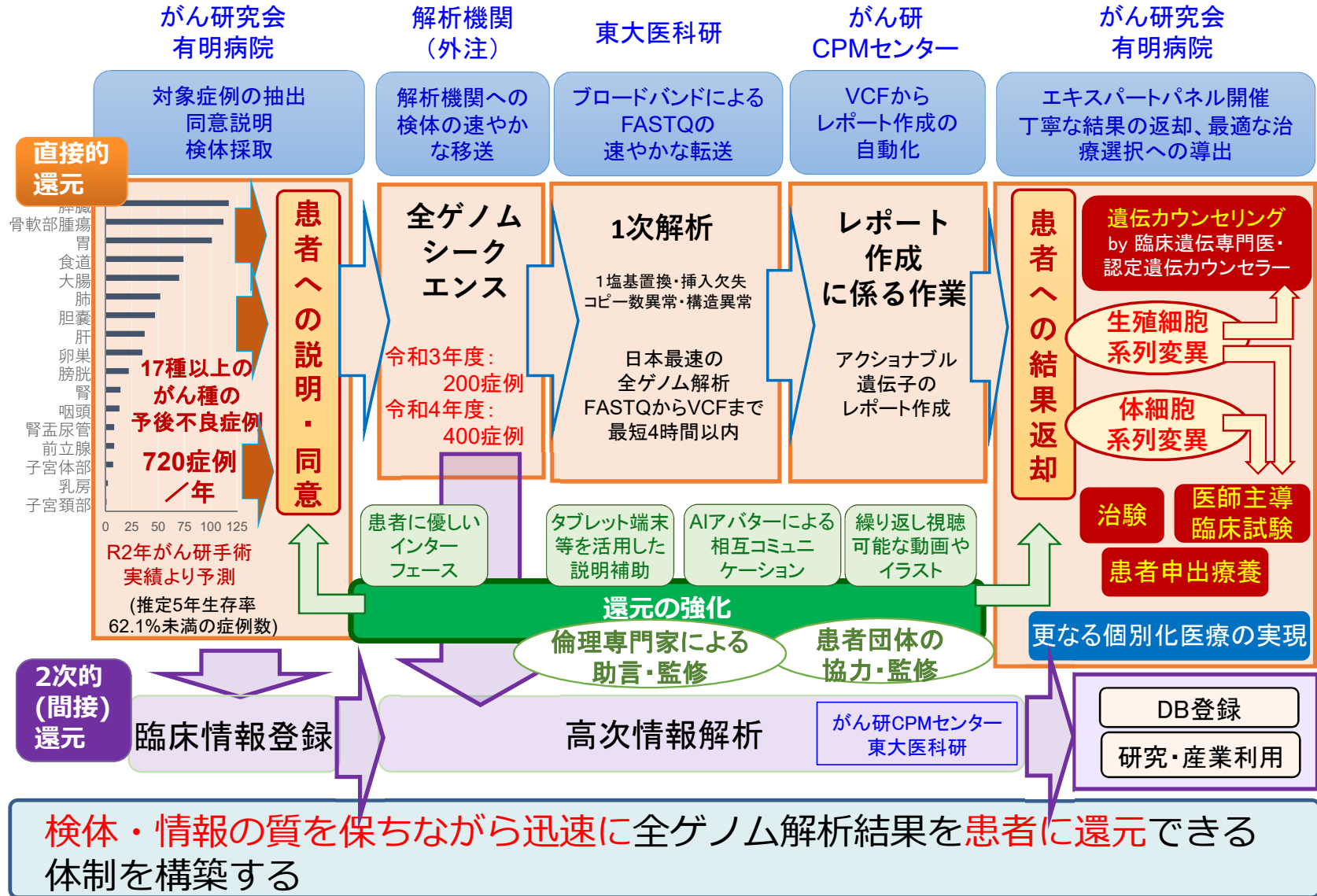
研究開発代表者： 上野 貴之

(先端医療開発センター がんゲノム医療開発部、乳腺センター 乳腺外科 部長)

研究プロジェクトマネジメント責任者： 深田 一平

(ゲノム診療部、乳腺センター 乳腺内科 医長)

がん研究会 還元班（上野班）の概要



がん研究会 還元班

R3の実績とR4の解析予定症例数

検体種別	解析件数	
	R3の実績	R4の予定症例数
前向き 検体	同意取得:287件 出件数 :235件 ↓ R4年度も上乗せ 検体の出検を継続	同意取得/出検:600症例 +進捗状況により上乗せの可能性 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> がん研 : 400件 慶應義塾病院 : 100件 大阪大学病院 : 100件 </div> } 追加 (分担)
既存検体	出件 :300件	-

想定する対象症例のがん種とステージ (※5年生存率62.1%未満を目安として設定)

領域	対象がん種(Stage)	がん研での推定最大症例数(年間)
整形外科領域	骨肉腫 (ⅡA以上) 軟部肉腫 (Ⅱ以上)	計100例
泌尿器領域	腎細胞がん (淡明細胞型) 膀胱/尿路上皮がん(T3以上) 尿管がん	30例 50例 40例
大腸外科領域	結腸がん(Ⅱ以上) 上部直腸がん(Ⅱ以上)	計100例
呼吸器外科領域	小細胞がん(ⅡA以上) 非小細胞がん (ⅡA以上)	50例
肝胆膵外科領域	肝細胞がん、胆道がん、膵がん(全てのstage) 根治術不能例も	計250例
食道外科領域	進行がん	50例
胃外科領域	一部のⅡ、Ⅲ、一部のⅣ	70～80例
頭頸部領域	上顎、中下咽頭喉頭 (Ⅲ以上) 口腔 (Ⅲ以上) 舌 (Ⅲ以上/LNメタ)、甲状腺 (未分化)、希少癌 (唾液腺癌など)	計100例
乳腺外科領域	(Ⅲ)以上 or 領域リンパ節転移陽性	50例
婦人科領域	子宮体がん (Ⅲ以上) 卵巣がん (Ⅲ以上) 卵管がん腹膜がんも	130例 160例 -

※分担研究機関において、脳外科領域疾患の追加を検討中

がん研究会 還元班の令和4年度の方針

全ゲノム情報の恩恵を高精度かつ迅速に患者還元するために、下記の項目の実践を目指す。

1) 直接的還元

- エキスパートパネルでの検討を踏まえた丁寧かつ着実な患者還元を実践
- 分担医療機関との緊密な連携による研究拡大を推進
- 進捗状況を踏まえながら同意取得症例数の上乘せを検討
- 出口戦略についてAMEDや各班との連携した対応を検討

2) 2次的(間接的)還元

- EDC入力開始に備えた臨床情報収集の継続
- 2次的還元を目的とするがん研内の情報解析チームとの連携

3) 還元の強化

- ICT/AI技術(AIアバター)を用いた説明資料コンテンツ作成を継続
- 外来での補助説明用スペース確保などの環境整備を検討

がん研究会 還元班から基本・出口コホートへの誘導

